

# 4vc Concert

4本のチェロによるアンサンブルの重厚な響きをお楽しみください。



中村 浩太郎



矢田 啓介



長谷川 晶子



三浦 鮎

- ▼Fitzenhagen / Ave Maria op.41  
フィッツェンハーゲン / アヴェ・マリア op.41
- ▼W.Aeschbacher / Suite op.44  
アッシュバツハー / 組曲 op.44
- ▼Corrette / Le Phenix  
コレット / フェニックス

- ▼Grieg / 2 Elegic Melodies op.34  
'Wounded Heart' 'The Last Spring'  
グリーグ / 2つの悲しき旋律 op.34  
「傷ついた心」「過ぎにし春」
- ▼Dejardin / Tchaikowsky -Pastiche  
デジャルダン / チャイコフスキー・パステイー  
シュ
- ▼Pachelbel / Canon  
パツヘルベル / カノン

2025 3/30 (sun)

開場13時30分 開演14時

和光大学ポプリホール鶴川  
地下ホール

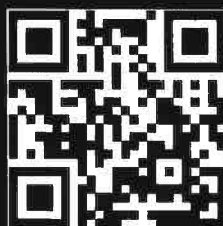
〒195-0053 東京都町田市能ヶ谷1-2-1

小田急線鶴川駅

「北口」徒歩3分

裏面に地図がございます。

<https://www.m-shimin-hall.jp/tsurukawa/>



チケット

前売券 3,000円 当日券 3,500円

♥●★お申込み予約♥●★

①主催 あんさんぶるSWAN

042(785)5363 (矢田)

[yadavic@softbank.ne.jp](mailto:yadavic@softbank.ne.jp)

②和光大学ポプリホール鶴川

042-737-0252

③TEKET (テケト: 電子チケット)

<https://teket.jp/10681/44611>

QRコードよりご購入いただけます

主催: あんさんぶるSWAN 042(785)5363 [yadavic@softbank.ne.jp](mailto:yadavic@softbank.ne.jp)

# Profile



中村 浩太郎



三浦 鮎



長谷川 晶子



矢田 啓介

## 演奏曲目 (曲目は変更になる場合がございます)

### ▶ W.Fitzenhagen / Ave Maria op.41

フィツェンハーゲンはドイツのチェリスト。チャイコフスキーから「ロココの主題による変奏曲」を献呈された。アヴェ・マリアは澄んだハーモニーと美しいメロディの名曲

### ▶ W.Aeschbacher / Suite op.44 (全4楽章)

ワルター・アッシュバッハー (1901-1969) はスイスの指揮者・作曲家。彼の作品は豊かでメロディックな発明を伴う。

### ▶ M.Corrette / Le Phenix (全3楽章)

ミシェル・コレット (1707- 1795) は、フランスの作曲家。「フェニックス」は4本のチェロのためのオリジナル作品。

### ▶ F.Grutzmacher / Consecration Hymn

19世紀後半のドイツ人チェリスト。ドレスデン音楽院の教授。

### ▶ E.Grieg / 2 Elegiac Melodies op.34

‘Wounded Heart’ ‘The Last Spring’ 原曲は弦楽合奏曲。

### ▶ Dejardin / Tchaikowsky -Pastiche

デジャルダン / パスティエーシュは音楽などにおいて、先行する作品の要素を模倣したり、寄せ集め、混成すること。チャイコフスキーの「白鳥の湖」「悲愴」らしき部分がある

### ▶ J.Pachelbel / Canon パッヘルベル/カノン

### ▶ Johan and Josef Strauss /Pizzicato Polka

シュトラウス兄弟/ピチカート・ポルカ

## 中村 浩太郎 Kotaro Nakamura

神奈川県立弥栄東高校音楽コース卒業、国立音楽大学卒業。同大学の室内楽コースを修了。チェロを幼少の頃に藍川政隆、井上弘之の各氏、学生時代を杉原捷子、三戸正秀、藤森亮一の各氏に、室内楽を徳永二男、漆原啓子の各氏に師事。TAMA音楽フォーラムにて弦楽四重奏のメンバーとしてライブツィヒ・カルテットの公開レッスンを受講。現在は同好の輪を広げるべくチェロ講師、弦楽団体のトレーナーやフリーの奏者として関東を中心に活動中。

## 三浦 鮎 Ayu Miura

宮城県仙台市出身。宮城県立第一女子高等学校卒業後、東北芸術工科大学に進学。漆芸の水上市修氏、人間国宝の室瀬和美氏に師事。漆芸作家の傍ら音楽活動を再開。その後活動の場を音楽に移し、群馬交響楽団元首席チェロ柳田耕治氏、国際文化振興芸術家協会理事の故藤沢俊樹氏に師事。各種チェロアンサンブルのコンサートに出演する傍で、室内楽演奏会を主催。全日本芸術協会主催 2019年日本芸術コンクール上位者大会2位。高崎演奏家協会役員。

## 長谷川 晶子 Shoko Hasegawa

桐朋学園大学卒業、同大学研究科修了。卒業後、青森と東京にて、ソロリサイタルを幾度と開催し好評を博す。また、室内楽演奏会も数多く開催し高い評価を得ている。

現在は、フリーのチェロ奏者として、ソロ、室内楽、オーケストラを中心に活躍する他、「flcepia」のメンバーとして青森、東京、長野にてコンサートを度々を行う等幅広いジャンルで活躍している。flcepia、1stアルバム「Hikari」発売中。

チェロを藤沢俊樹、毛利伯郎、ラースロー・メゾの各氏に師事。

## 矢田 啓介 Keisuke Yada

名古屋生まれ。18歳名古屋市立大学管弦楽団入団と同時にチェロを始める。チェロを藤沢俊樹氏に師事し研鑽を積む。各地のプロオーケストラの客演、室内楽やチェロアンサンブルでの活動を経て、2006年よりほぼ毎年、自身で14回の自主コンサートを開催した。現在、東京、神奈川、千葉で後進の指導にあたるほか、社会人オーケストラや高校の弦楽部でチェロパートを指導している。アンダンテ・カンタービレ弦楽合奏団音楽監督。町田市在住。

